

令和6年8月27日

令和6年度2学期 始業式 挨拶

皆さん、おはようございます。新学期を迎えました。夏休みに入る前に、安全に留意してまた新学期に、と伝えましたが、皆さんは無事に新学期を迎えられたことと思います。暑さがまだまだ続きますが、桜樹祭も直前に控え、様々なことが動き始めます。今日から気持ちを切り替えて、また新たな一歩を踏み出しましょう。

この夏休み、この中には日常とは異なる景色を見られた人がいます。岐阜県で行われた総文祭に参加したコーラス部と文芸部の部員。佐賀県で行われた高校総体、インターハイに参加した水泳部の選手。アメリカ合衆国東海岸で行われた海外派遣研修に参加した生徒たち。いずれもこの夏は、いつもとは異なる景色を見ることができたのではないのでしょうか。お疲れさまでした。皆さんが見たもの、感じたもの、ぜひ近くの人と分け合って、自分だけの体験をみんなの体験へと広げて行ってほしいと思います。

ご存知のとおり、今年の夏はフランスのパリでオリンピックが行われ、今週からパラリンピックも始まろうというところです。実は知らない人も多いと思いますが、今回のオリンピックの方では、皆さんと同じこの多摩地区の高校を卒業した選手が出場しています。陸上競技部の人たちにはなじみのある上柚木運動公園で記録会や支部予選に参加していた選手が複数名、日本代表として世界の舞台に立つアスリートとして活躍していたのです。

総文祭やインターハイに出たり、オリンピック選手として海外に渡航したりすることは、自分には関係ないことと思っている人もいるかもしれませんが。しかし、実際には、皆さんのクラスメートや、自分と同じ大会に出ていた他校の部活動の選手が、そのような舞台に出ています。皆さんが今いるところとつながったところに、今日の風景とは少し違う、大きな舞台があることを忘れないでほしいと思います。

皆さんが未来を一緒に担っていく人たちは、国内だけにとどまらない時代を迎えます。競技を通じてライバル関係にある選手同士が、お互いにアドバイスしたり、相手の記録を笑顔で称えたりしている光景をテレビで見た人も多いと思います。あのような姿勢でことにあたる人たちと、力を合わせて生きていく時代が、この先の皆さんに待っています。メダルがいくつとれました、ということ以上に大切なことを、オリンピックは教えてくれています。自分には関係ないと思う前に、勇気をもって外に目を向けてみる、高みを目指して今日一日、力を出し切る、そんな2学期にしてほしいと願っています。

高みを目指して今日一日、力を出すような場面が、2学期にはいっぱいあります。桜樹祭の発表やステージも、これが高校生か？と思わせるような最高のものを作り上げることを全員で目指してほしいと思います。勉強においても、安易な妥協をしないで、高みを目指すのはどの学年でも共通です。来年度の選択を決める1, 2年生も、そしていよいよ受験が本格化する3年生も、受験はだれもが予選を経ないで参加できる全国大会です。大きな舞台に上がった人たちしか見られない風景を自分のものにできるよう、今、目の前にあること、たとえそれが小さなことであっても丁寧に向き合っていく2学期にしていきましょう。

私からの話は以上となります。